

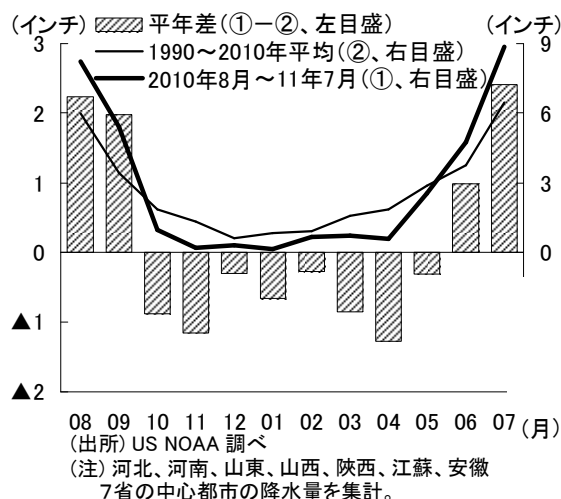


## 続く中国の天候不順

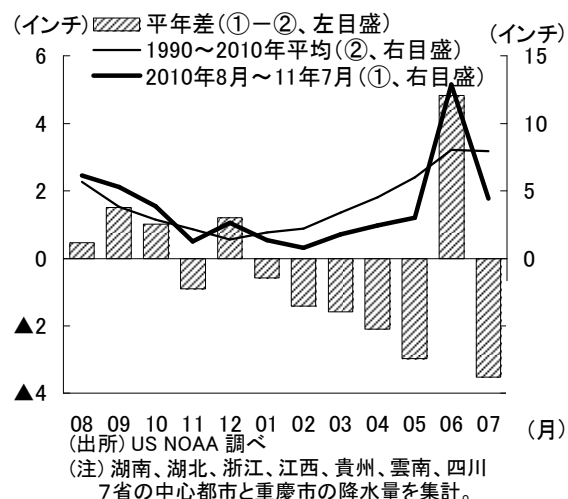
### ～ 世界の穀物需給に一段の逼迫懸念 ～

- (1) 中国消費者物価は本年6月前年比6.4%の上昇へ。2008年6月以来3年振りのハイペース。主因は食料品の高騰。食料価格は同11.4%の上昇で08年7月以来の高さ。なお、食料品を除くベースでみると、同3.0%の上昇にとどまり、総じて安定した推移。
- (2) 食料品の値上がりには経済成長に伴う農地転用や水需要の増加、所得増による食料需要の増加など様々な要因が作用。しかし、このところの価格上昇は天候不順に起因。記録的少雨が続くなか、穀物の生育不全に直面するエリアが拡大。まず、小麦生産を支える華北エリアでは昨秋来、本年4月まで早魃（図表1）。冬小麦を直撃。6月から降水量は増加へ。しかし、集中豪雨で農作物の生育には逆効果。
- (3) 次いで米作の中心である華南エリアでは本年春の田植え期に早魃（図表2）。6月には、集中豪雨により例年の倍近い降雨となった後、7月、再び例年のほぼ半分の記録的少雨に。東北3省や南方エリア、あるいは内蒙古や寧夏の乾燥地域も、ほぼ同様の推移（図表3）。
- (4) 食糧不足解消に向け中国は穀物輸入を強く推進（図表4）。国内需給の逼迫回避が視野。しかし、世界の総消費量に占める中国のシェアは大豆や米が3割、小麦が2割と際立って大。米欧、露豪で早魃や山火事、洪水と本年も主要な穀物生産国で異常気象が続くなか、中国の輸入増は国際的な需給逼迫に拍車を掛け、一段の市況上昇に作用する懸念大。

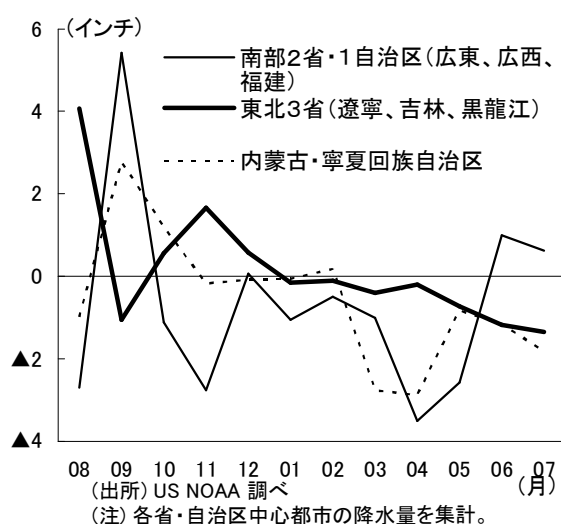
（図表1）華北エリアの降水量



（図表2）華南エリアの降水量



（図表3）南部・東北・内陸地区の降水量（平年差）



（図表4）中国の穀物輸入量（季調済）

